

議会広報広聴委員会記録

令和5年6月8日（木）
13時32分～14時43分
全員協議会室

- 【出席者】 三浦委員長、村武副委員長、
肥後委員、村木委員、大谷委員、沖田委員、川上委員、小川委員、
上野委員、川神委員
- 【議長団】 笹田議長
- 【事務局】 下間局長、村山書記、小寺主事
-

議題

- 1 はまだ議会だよりminiについて…………… 資料1
 - (1) 第22号掲載内容及び原稿担当
 - (2) その他

- 2 はまだ議会だよりVol. 70について…………… 資料2-1、2-2
 - (1) ページレイアウト
 - (2) 掲載記事及び原稿提出締切
 - (3) その他

- 3 地域井戸端会での自由意見の振り分けについて…………… 資料3
 - (1) 地域井戸端会での自由意見の振り分け先の確認
 - (2) その他

- 4 第3回はまだ市民一日議会について…………… 資料4
 - (1) 昨年の実施概要確認
 - (2) 開催日決定
 - (3) その他

- 5 ぎかいポストに寄せられた意見の振り分けについて…………… 資料5
 - (1) ぎかいポストに寄せられた意見の振り分け先の確認
 - (2) その他

- 6 その他
 - (1) 3常任委員会での広報広聴委員によるお知らせについて

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[13 時 32 分 開議]

○三浦委員長

議会広報広聴委員会を始める。出席委員は10名で定足数に達している。本日の議題はその他を含め6点になる。早速議題に移る。

1 はまだ議会だよりminiについて

(1) 第22号掲載内容及び原稿担当

○三浦委員長

村山書記より説明をお願いします。

○村山書記

(以下、資料を基に説明)

○三浦委員長

miniの記事を決めたい。事務局に記載してもらった各委員会の直近の活動なども参考にしつつ、皆のご意見を頂戴したい。

○川上委員

産業建設委員会の欄に「意見交換会」と書いてあるが、まだ実施予定が確定していないため、行ったらこれを入れたいが良いか。

○三浦委員長

7月1日の発行に間に合いそうか。

○川上委員

6月定例会議中にやりたいと思っている。

○三浦委員長

川上委員から提案があった。一つはその項目で良いか。

(「異議なし」という声あり)

ではもう一つどうか。直近の話で言うと議会改革推進特別委員会が監査についての勉強会を実施している件などどうかと思うが。良いか。

(「異議なし」という声あり)

では議会改革推進特別委員会の勉強会について記事を書きたい。議会改革推進特別委員会委員のどなたかに担当いただけませんか。僕が担当しようか、三浦が担当する。

記事は産業建設委員会と議会改革推進特別委員会で書かせていただきたい。議員のつぶやきを担当してくれる方は。

(大谷委員挙手)

では大谷委員につぶやくネタを探していただくようお願いします。議長日誌は事務局と議長で調整をお願いします。

(2) その他

○三浦委員長

miniについては以上でよろしいか。ほかに皆からあるか。

(「なし」という声あり)

2 はまだ議会だよりVol. 70について

(1) ページレイアウト

○三浦委員長

村山書記から説明をお願いします。

○村山書記

(以下、資料を基に説明)

○三浦委員長

掲載記事と担当を決めていきたい。

(以下、担当者決定のための協議)

(2) 掲載記事及び原稿提出締切

○三浦委員長

市民対談の取材対象だが、皆からご提案があれば伺いたい。

○上野委員

今福の地域井戸端会で、まちづくり関係で、何もかもうまいこと積極的に動いておられるのが良いと思った。例えばタクシーを使って高齢者の中でも若い人たちを中心に草刈りや、買い物、病院への通院。通院は人数が足らなければ行ける人、皆準備しておられて、明日空いているから行かないかと声を掛けるなど、本当にこまめにしておられたのにすごく感動した。そういう人の話も聞けたら良い。

○三浦委員長

それはまちづくり推進委員会の活動なのか、それとも今福で任意の活動をされているのか。

○上野委員

おてもやさん、ではなく、何だったか。

○三浦委員長

上野委員からもご提案があったような地域の活動は、議会内でも、どうやって自立したコミュニティをつくるかとか、小さな拠点づくりだとか、協働のまちづくりだとか、そういったテーマで取り上げられているので、その提案を基に、どういった活動団体なのかも再度確認させていただいて、取材を進めていただく形で。皆はどうだろうか、今の上野委員からのご提案は。よろしいか。

(「異議なし」という声あり)

では今回はそういった形で取材を進めていこうと思う。テーマは地域の活動について。上野委員もご協力くださるということで。ではそのように進めさせていただく。

次号でも市民対談の話は出てくるので、皆の日頃の議会活動を通じて目に止まった

り、ぜひ取り上げたい方々や活動があったりすれば、ご提案いただけるようご協力を
よろしく願います。

(3) その他

○三浦委員長

その他、お気づきの点はあるか。

(「なし」という声あり)

3 地域井戸端会での自由意見の振り分けについて

(1) 地域井戸端会での自由意見の振り分け先の確認

○三浦委員長

小寺主事から説明をお願いします。

○小寺主事

地域井戸端会の報告書をまとめたものを資料3として配信しているので確認してほ
しい。順番は班でやった順番で並べている。今回は持ち帰るものとして括弧して委員
会が書いてあったりするので、その委員会でよろしいかどうかを特にご確認いただ
ければと思う。この報告書は6月16日定例会議初日の全員協議会にて、全議員の同意の
もと進めていきたい。

○三浦委員長

報告書の作成にご協力いただき改めて感謝する。配信されたとおり報告されており、
自由意見も各担当委員に所管の委員会に振り分けてもらっている。先ほど小寺主事か
らも話があったように、今日はまずこの振り分けの確認ということで、細かい振り返
りはまた別の機会にしたい。振り分けについてご意見があれば。一旦できるだけ持ち
帰る形を取られているかと思うので、それぞれの委員会に振ってそれぞれでご対応い
ただくということでもよろしいかと思う。

○川上委員

報告書を各委員会で参考にしていただき、回答できるものは回答する、執行部に聞
かなければいけないものは聞いて、それを議会広報広聴委員会に報告いただいた上、
議会広報広聴委員会から各センターへ提示する形になるのか。

○三浦委員長

流れ的にはそのように理解しているので、そのような流れで進めていきたい。

○川上委員

温かいうちに回答したほうが良いと思うので、なるべく早いほうが良い。実は私の
ところに、いつ回答をくれるのかと電話があったので。よろしく願います。

○三浦委員長

できるだけ早く回答するよう議会としても努めていくべきと思う。スケジュールは
どのように切っていたか。事務局側で把握している部分があれば。

○小寺主事

もともとの全員協議会での説明では、6月定例会議期間中の3常任委員会で、いただいた意見で持ち帰る部分を確認し、対応を協議いただく。その後の締切りは用意していない。想定はできてないが7月中には掲示ができるように進めていくものだと考えている。

○三浦委員長

そのようなスケジュールで進めていく旨を、各常任委員会にお伝えしながら集約していきたい。引き続きよろしく願います。

この件については以上で良いか。

(「異議なし」という声あり)

(2) その他

○三浦委員長

地域井戸端会についてその他、ないか。

(「なし」という声あり)

4 第3回はまだ市民一日議会について

(1) 昨年の実施概要確認

○三浦委員長

まずは今配信されたのが昨年の実施概要である。

(以下、資料を基に説明)

基本的には1回目の反省を踏まえて2回目を行い、2回目は運営上特段大きな問題はなかったのではという振り返りを行ったので、それを踏襲する形でまずは提案するものだが、より良い形にしたいのでお気づきの点やご意見をいただきたい。

○川上委員

先日市民からお電話があった。議場をはまだ市民一日議会（以下、市民一日議会）に使う理由は何か、そういうことはしても良いのか。議場を議会事務局と議会だけで使うことを決めて良いのかと。それについては何か回答があるか。

○下間局長

浜田市の庁舎ということで、市長部局と議会とで何か取り交わしたわけではないが、この5階フロアについては議会事務局が鍵を管理している。特段市からそういう使い方をするなど言われたわけではないので、議会事務局や議会でこのようなことをやると決めて、イベントをやることについては問題ないと思っているが、そういう市民の声があるのは聞いている。市長部局と話しても、特に問題はないという見解ではあるのだが。

○小寺主事

あと市民一日議会のコンセプトとして、議会に親しみを持ってもらうということで、普段は議場になかなか来られない方にも入っていただくという狙いもある。そういう意味でも議場で開催することにこのイベントの意義が一つあると考えている。

○三浦委員長

ほかにあるか。先ほど説明したように、第2回で行った内容を踏襲するような形になっているが、それを引き継ぐ形で進んでいくということによろしいか。

○大谷委員

どこかの時点で本人確認をする必要性についてはどうか。

○小寺主事

第2回るときにいろいろ出てきたことかと思う。運営はスムーズにできたと思うが、申込みの段階でいろいろあった。そこは反省点として第3回にうまくできるよう、これから調整していきたい。

○三浦委員長

ほかにはどうか。

(「なし」という声あり)

ではこのような形で進めていきたい。

(2) 開催日決定

○三浦委員長

開催日を決める必要がある。10月22日を候補日として検討はしているが、11月1日に委員改選の臨時会議が予定されており、改選等の時期とちょうど重なるため、そういうスケジュールも共有しつつ、どういった時期が最適なのか考えていく必要があると思っている。実施日については初年度から、何月頃が最適かは議論しつつ秋に実施しているが、皆からご意見を伺って開催日を決めたい。事務局的には、好ましい時期などがあるか。

○下間局長

好ましいかどうかはともかく、先ほど言われたように11月1日に常任委員会改選があるので臨時会議を開く予定にはしている。それまでのところで議員に希望届を出してもらおうといった作業が出てくる。そういう調整を各議員にさせていただいた上での臨時会議なので、事務局も少し慌ただしくはなるが、そういうのが守られるのであれば10月の終わり頃も可能かもしれない。

○三浦委員長

決してできないわけではないだろうと思うが、そういった時期とちょうど重なるというアナウンスである。

○川上委員

昨年と同じなら10月15日になるが、22日か。

○三浦委員長

スケジュール調整をいろいろとする中で、翌週の22日という候補をこちらから上げさせてもらった。

○川上委員

理解した。

○三浦委員長

先ほど申し上げたスケジュールは、それはそれでということであれば、先ほど提示した10月22日を開催日として進めていきたいとおもうが、よろしいか。

(「異議なし」という声あり)

では10月22日日曜日の14時から16時ということを進めていきたい。これは全議員に周知することになると思うので、適宜タイミングを見て早目にお知らせしたいと思う。皆からも会派等にアナウンスいただければ大変うれしく思う。よろしく願います。

(3) その他

○三浦委員長

市民一日議会について、その他皆からあるか。

(「なし」という声あり)

5 ぎかいポストに寄せられた意見の振り分けについて

(1) ぎかいポストに寄せられた意見の振り分け先の確認

○三浦委員長

村山書記から説明をお願いします。

○村山書記

(以下、資料を基に説明)

○三浦委員長

3件あり、それぞれ総務・広報・福祉に割り振らせていただいている。これでよろしいか。特に意見はないか。

(「異議なし」という声あり)

では資料のとおり割り振って協議いただきたい。

(2) その他

○三浦委員長

ぎかいポスト関連で、その他ご意見があるか。

○川上委員

せっかくなので地域井戸端会については金城の無線等で広報いただいた。できたらぎかいポストについても流していただくと非常にうれしいのだが。可能であればやってほしい。

○三浦委員長

川上委員から、ぎかいポストの設置について防災無線等を使って周知してはどうかというご提案があった。防災無線で流す情報について、判断はどこがするのか。

○小寺主事

地域によっても違い、金城、旭、弥栄はそういった情報も流すことができる。三隅は防災情報しか流さない運用になっているそうである。各支所の防災自治課が担当し

ている。

○三浦委員長

浜田市一律になってないところに少し疑問を抱きながら。これは所管ではないので。ただ、どうやってぎかいポストの存在を周知するかを考えていくのは、もちろん当委員会だと思うので。今の提案をまた別の機会に、そういった取扱いについて協議するというのでよいか。防災無線で流すことが可能なかどうか、各支所に確認するか。

○川上委員

地域井戸端会の案内ができるのだから、ぎかいポストの案内もできるはずである。できるところは流していただく方向で進めていただければ。できないところについては、何かの方法をできれば地域の支所又は本庁で考えていただく。

○三浦委員長

ほかの委員は、今のご意見についてどう思われるか。

○沖田委員

いきなりすごく周知していくのもなかなか難しいことだと思う。とりあえず負担なくできる努力からまずやってみるのも方法の一つだと思っている。例えば各まちづくりセンターにポスターを作るとか、議会だよりm i n iの下の方に掲載するとか。波及効果は少ないかもしれないが、まずできるところからやってみるのも一つの方法では。

○三浦委員長

ほかの方はどういうご意見か。

○川上委員

それだけのものがあるならやったほうが良い。何ら問題ないので、そのほうがより良いという方向で少しやってみたらどうか。ほかの地域と不公平になるというなら別だが、今回の地域井戸端会についても防災無線を使って周知したのだから。同じことである。

○川神委員

以前、コロナの対策本部で、防災無線で流す内容についていろいろ議論があった。あまりにも差があるのではと。何とか統一して、エリアごとのすり合わせをしながらやったほうが良いと。三隅では流れたが旭では流れないというようなことはどうかという話があった。そのときすでに、旧自治区内でスタンダードみたいなものを決めておいても良いといった話があったように記憶している。今防災無線の内容に関して、濃淡があること自体違和感がある。良いことは共通してやる方向で、例えば投げ掛けてみてしっかりアピールしたほうが良いと私も思う。せっかくあるものは活用して。議長なんでもメールなどをあまり活用されない方が、書いてそこへ入れるのはとてもアナログだが大きな力になると思うので、もう少し気軽に入れるような取組をしていく。そのためにいろいろなツールを使うことは重要だと思う。

○大谷委員

各地域の文化というか、取組の経緯もあると思うので、そういったことが住民に受

け入れられている所についてはそれで良いと思うが、私の周辺の感じから言えば、防災無線なのであまりにも頻繁にいろいろな放送をすると、緊急性の度合いが下がっていくというか。本当に避難が必要な大事なアナウンスが軽視される心配もある。広報的に防災無線を使うのは検討したほうが良い。どちらかと言えば消極的な気持ちを持っている。

○上野委員

ケーブルテレビだったらもっと良いのでは。防災無線なら何回やるのか、1回だけで終わるのか、月に1回くらいやるのか。

○川上委員

金城地区の防災行政無線は、6時15分に1回目、7時に2回目、午後4時半に3回目、7時に4回目。1日に4回も5回も鳴る。しかし災害等はまた別の話である。災害の際にはサイレンが鳴る。はっきり分けてあるので問題ない。

○村木委員

私が現職のときも、各地域の防災行政無線の使用方法は全部違っていた。統一性がないと言えばそうだが、通常の行政情報を出すやり方に乗って今回の件もテーマとして上げてもらうということなら、金城は金城で通常の行政情報の伝達方式があるし、三隅には有事以外は基本的にケーブルテレビで放送するルールがあるので、当面はそれで良いかと思っている。

○三浦委員長

一旦、各地域の防災行政無線を所管している支所及び本庁に、こういった議会からの情報を依頼した際に使っていただけるかどうか、まずは確認するところからか。防災行政無線を使うか使わないかは、この委員会内でも議論があるので、状況を確認して再度協議するというところでどうか。

○川上委員

その前に、金城ではすでに地域井戸端会の情報を出して、問い合わせは議会事務局へと放送している。何ら問題ないと思うが。

○三浦委員長

金城では地域井戸端会についてはそうしていただいた。よってほかの支所についてもそういった扱いができるのかどうか。まずはそれを確認して、それを受けて。今日は防災無線というツールを使うことについて、どちらかといえば消極的な意見を持っている委員もいるので、改めて材料を踏まえて協議をするということはどうだろうか。よろしいか。

(「異議なし」という声あり)

では、そのような扱いにさせていただく。ご提案に感謝する。ほかに何かあるか。

○村武副委員長

ぎかいポストに寄せられた3番目の「地域の買い物困難者対策としての提案」という意見について。確かに高齢者や障がいのある方々のことが書いてあるが、移動販売の話なので、福祉環境委員会の所管となっているが、福祉の視点でお答えする形にな

るのか。総務文教委員会のほうが良いかと思ったりもするのだが、いかがか。

○三浦委員長

では両方の委員会に投げたらどうか。両方の意味合いがあるということで。総務文教委員会にもご意見として提供してよろしいか。

(「異議なし」という声あり)

ではそのようにさせていただく。そのほか、いかがか。

(「なし」という声あり)

6 その他

(1) 3常任委員会での広報広聴委員によるお知らせについて

○三浦委員長

小寺主事から説明をお願いします。

○小寺主事

議会広報広聴委員会から各3常任委員会にお知らせすることがこれまで多々あった。事務局から書記を通じてやったこともあったし、三浦委員長の名前で各常任委員長に文書を出したり集まってもらったりもした。新たな提案にはなるが、3常任委員会と同じタイミングで開かれるときに議会広報広聴委員会からお知らせを流していただけたらどうかと提案するものである。さし当たって例えば、ぎかいポストに寄せられた意見について、当委員会にはこういう意見があるのでいついつ協議しようといったアナウンスや、市民一日議会の開催日が議会広報広聴委員会においてこの日に決まったといったことをお知らせしていただくといったことを設けておきたい。お知らせする内容は議会広報広聴委員会内で確認した上で、各委員にお話しいただければと考えているがいかがだろうか。

○三浦委員長

事務局から提案いただいたように、各常任委員会から選出されて集まっている委員会なので、ここで協議された内容を各委員会に持ち帰っていただき、できるだけ情報共有する形で。確実性もあるし良いのではと思うが、いかがか。

○川上委員

となると委員長名での依頼は今後なくなるのか。

○三浦委員長

そうは思っていない。各常任委員会にきちんとお願いごとをしなければならないようなものについては、もちろん委員長に宛てて文書でお願いすることもあると思う。基本的にここで決まった情報を共有するという意味合いで、委員会内での報告をぜひ皆からお願いしたいということである。

○川上委員

共有という範囲でということと理解した。

○小寺主事

3常任委員会での流れのイメージだが、議題のその他で、議会広報広聴委員会から

のお知らせを設けさせていただく形で進めてはどうかと思っている。

○三浦委員長

よろしいか。

(「異議なし」という声あり)

ではそのような形で、この委員会は全体の取組に及ぶことが多いので、しっかり共有していただくよう皆のご協力をお願いする。一応各委員長に、今後そのようにすることは伝えておく。

そのほか、私から。研修等・視察等について。議会広報広聴委員会においても我々の委員会活動が充実するよう、視察ないし研修に活動費を使いたいのだが、皆からご提案があればお受けしたい。個人的には、できるだけ分かりやすく情報を拾ってもらえるような伝え方や編集方法などを皆と学ぶ機会があっても良いかと思っている。それを委員会内だけで共有するのか、それとも委員外議員も参加できる形にするかまでは決めてないが、そういう場を持ってはどうかと思っているのだが。今日いきなり視察先などを伺っても出しにくいと思うので、次回また研修や視察について協議する時間を設けたい。皆からもご提案いただけるよう、持ち寄る形で協議したいと思うので、それぞれでご検討いただきたい。よろしくをお願いします。

そのほか、あるか。

(「なし」という声あり)

先ほど各3常任委員会で、当委員会委員からいろいろな情報共有をするようお願いしたが、ぎかいポストの意見を振り分けることについて、その協議を定例会議期間中にやる必要があること、できるだけ早く戻すため6月中の協議をお願いしたいことを、皆から委員会内で周知していただきたい。

それから、地域井戸端会が出た意見の振り分けもぎかいポストと同じイメージで行うことも共有をお願いします。

三つ目、先ほど決定した市民一日議会の開催日についてだが、10月22日日曜日の14時から16時を想定していることも併せて、次の委員会で皆から情報共有いただけるとうれしい。よろしくをお願いします。

○大谷委員

地域井戸端会から持ち帰った意見についてだが、一応出た意見として各委員会に振り分けた中で、各メンバーが共有するという意味合いで持ち帰っているものもあれば、場合によっては回答するものもあるかもしれない。そのあたりは各委員会で判断いただく流れで良いか。

○三浦委員長

そのような見解でいる。

○大谷委員

したがって、出た意見は持ち帰ったが、回答が必要ないものもあるという認識で報告したものもあるので、それは各判断ということ。

○三浦委員長

そのような認識でよろしいかと思う。基本的に投げられた問いに対してその場で答えられなかったことや、委員会に持ち帰るべきと判断したものもあるので、それについてはできるだけ、いただいたご意見に対して答えるべきものは答えていただくというスタンスで振り分けていただけたらと思う。ご意見として伺っておくものも、もちろんあると思う。掲示板に貼る形で戻す際、いただいた意見を参考にさせていただくことと、いただいたご質問に答えるべきと委員会が判断したものは、この掲示板をもって回答させていただくという趣旨でお戻しすれば良いのでは。よろしく願います。その他あるか。

(「なし」という声あり)

では次回開催日について。

○村山書記

6月29日木曜日、予算決算委員会の後を考えているがいかがでしょうか。

○三浦委員長

皆、よろしいか。

(「異議なし」という声あり)

では29日の予算決算委員会終了後に議会広報広聴委員会を開きたい。補足はあるか。

○村山書記

陳情が議会広報広聴委員会にも付託されているので、その話もそこでさせていただければと思う。

○三浦委員長

陳情の話も29日にということで、委員会を開催させていただく。以上をもって議会広報広聴委員会を終了する。

[14 時 43 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 三浦大紀